

1 学校関係者評価委員会の総評

(1) 本校の目標と重点的な取組について

指導法を改善し、互いに聴き合える学習集団をつくる。

【重点目標】

- ① 一斉型授業，教師主導型授業，一問一答式授業からの脱却を目指して，指導法を改善する。
 - ア 学習形態（ペア学習，4人を基本としたグループ学習）を工夫する。
 - イ 質の高い課題の提示により，児童が夢中になって学ぶ授業づくりをする。
- ② 聴き合いのできる児童同士の互恵関係をつくる。
 - ア 聴き合いを活かした学習活動を全ての授業で実践する。
 - イ 教師は児童の主体的な学習活動を支援する立場に徹する。
 - ウ 児童の「わからなさに寄り添う」教師を目指す。
- ③ 実効性のある授業研究会や研究協議会を実践する。
 - ア 1人1回以上の公開授業を実施する。
 - イ 外部講師を招いた要請訪問指導を3回以上実施する。
 - ウ 研究先進校の授業研究会や授業づくりセミナーに積極的に参加する。

(2) 成果と課題について

- ① どの学級でも学習形態の工夫や児童の考えを生かす指導の工夫が見られた。教師が静かな声で話したり，子供の考えを大切にしたりするなど，指導の仕方が大きく変わったことが分かる。また，特別活動の中で，児童が活動の中心になって活躍する様子が見られ，児童の自主性がさらに育っていることを感じた。
- ② 授業中，おしゃべりをしたり離席したりする児童もなく，児童が落ち着いて生活できている。どの児童も表情が明るく楽しそうである。
- ③ 随時，ホームページが更新されており，子供たちの活動の様子や学校の取組みが写真等で紹介されているのが良い。高齢者は，ホームページを見ることをしないので，紙媒体でも発信するとよい。

(3) 改善，要望点について

- ① 特に不審者による事故や交通事故が心配である。学校・家庭・地域・警察で連携して，安全・安心な環境を整えるよう働きかけをしていく必要があるだろう。
- ② 校庭の水はけの悪さが相変わらず気になる。数年先の小中一貫校の建設の事情もあるだろうが，現在生活している児童の安全確保や体力づくりのためにも，早めの対応をお願いしたい。

(4) 本年度の自己評価の方法やアンケートの取り方等，学校評価そのものに対する要望

- ① 児童と保護者を対象にしたアンケートをそれぞれ年2回実施しているので，変容がわかりやすい。児童・保護者とも昨年度よりも肯定的な評価が向上しているのので，安心した。学校の取組が児童の姿として表れており，保護者・地域から信頼されている様子が分かった。

(5) その他 特になし

2 分野別評価

分野	学校の取組に関する評価と今後の改善点
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子を見て，落ち着いた雰囲気の中で積極的に学習に取り組んでいた。どの学級でも，学習形態が工夫され，グループ学習が活発に行われていた。以前に比べて児童が楽しそうに学習している。児童の学力の向上は保護者・地域の願いでもある。これからは是非，この取組を継続して欲しい。 ・支援を要する児童に対して，担任が上手に支援して興味をもたせる工夫があった。学校全体で子供達を支援している雰囲気がありとてもよい。北小の取組はたいへん信頼できる。
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の表情がとても明るく，元気が良い。休み時間に異学年の児童と一緒に遊びながら，高学年が低学年の児童の面倒をよく見ている姿に北小の良さを感じた。 ・あいさつが以前と比べても良くなっている。しかし，他校に比べて，登下校ボランティアやあいさつ運動に参加する保護者が少ないようである。家庭や地域への働きかけを自分たちも続けていきたい。
信頼される学校	<ul style="list-style-type: none"> ・玉北ハーモニー集会では，地域の方もたくさん参加しており，子供たちの姿を見るのを楽しみにしている。三世代交流の場では，地域の高齢者の方が活躍できる場もあるとさらによいと感じた。 ・1人親家庭や要保護家庭・外国人保護者の数は，昨年よりも割合は減ってきているが，他校に比べてとても多い。学校として，家庭教育の大切さや児童との関わり方について助言したり啓発したりしていくことが大切であろう。また，市福祉課等とも連携を図り，児童が安心して学校に通える環境をつくって欲しい。